

入学試験過去問題

数 学

神戸大学（文科系）

対象年度：2023年

試験時間：80分

問題数：3問

第 1 問

a, b を実数とする．整式 $f(x)$ を $f(x) = x^2 + ax + b$ で定める．以下の問に答えよ．

- (1) 2 次方程式 $f(x) = 0$ が異なる 2 つの正の解をもつための a と b がみたすべき必要十分条件を求めよ．
- (2) 2 次方程式 $f(x) = 0$ が異なる 2 つの実数解をもち，それらが共に -1 より大きく， 0 より小さくなるような点 (a, b) の存在する範囲を ab 平面上に図示せよ．
- (3) 2 次方程式 $f(x) = 0$ の 2 つの解の実部が共に -1 より大きく， 0 より小さくなるような点 (a, b) の存在する範囲を ab 平面上に図示せよ．ただし，2 次方程式の重解は 2 つと数える．

第 2 問

A, B の 2 人が, はじめに, A は 2 枚の硬貨を, B は 1 枚の硬貨を持っている. 2 人は次の操作 (P) を繰り返すゲームを行う.

- (P) 2 人は持っている硬貨すべてを同時に投げる. それぞれが投げた硬貨のうち表が出た硬貨の枚数を数え, その枚数が少ない方が相手に 1 枚の硬貨を渡す. 表が出た硬貨の枚数が同じときは硬貨のやりとりは行わない.

操作 (P) を繰り返し, 2 人のどちらかが持っている硬貨の枚数が 3 枚となった時点でこのゲームは終了する. 操作 (P) を n 回繰り返し行ったとき, A が持っている硬貨の枚数が 3 枚となってゲームが終了する確率を p_n とする. ただし, どの硬貨も 1 回投げたとき, 表の出る確率は $\frac{1}{2}$ とする. 以下の問に答えよ.

- (1) p_1 の値を求めよ.
- (2) p_2 の値を求めよ.
- (3) p_3 の値を求めよ.

第 3 問

a を正の実数とする．2 つの円

$$C_1 : x^2 + y^2 = a, \quad C_2 : x^2 + y^2 - 6x - 4y + 3 = 0$$

が異なる 2 点 A, B で交わっているとする．直線 AB が x 軸および y 軸と交わる点をそれぞれ $(p, 0)$, $(0, q)$ とするとき, 以下の問に答えよ.

- (1) a のとりうる値の範囲を求めよ.
- (2) p, q の値を a を用いて表せ.
- (3) p, q の値が共に整数となるような a の値をすべて求めよ.